

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2024年 2月 2日

事業所名:

サービス種類: (例: 児童発達支援・放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員に応じたスペースを確保しています。	はい:89% どちらとも:11% いいえ:0% わからない:0% ・活動別に部屋が分かれているようで広さがある。 ・見学時に部屋の中を見たきりなので、どれぐらいの人数で活動しているか分からない。	今後もソーシャルディスタンスが保たれるスペースの取り方を継続しながら、保護者に伝わりやすい説明を心がけます。
	2 職員の適切な配置	スタッフ1名につき子ども1~2名の支援体制になるように配置しています。重要事項説明書への職員配置の記載、個別支援計画への職種の記載をしています。	はい:94% どちらとも:0% いいえ:0% わからない:6% ・利用者が何名いて、何人職員がいるかがわからない。	今後も職員の適切な配置を維持しながら、保護者に伝わりやすい説明を心がけます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	空間の区切りをなるべく少なくしています。活動内容を絵カードと文字にしていつでも見られるように掲示し、口頭でも伝えています。	はい:83% どちらとも:11% いいえ:0% わからない:6% ・視覚で分かりやすいよう絵カードやマークが用意されている。 ・見学時には環境、設備が整っているように見えたが、実際の活動を見た事がないのでなんともいえない。	子どもたちの発達に応じた設備の工夫を継続しながら、活動の様子を保護者に伝える手段を検討していきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃に努め、良好な環境保全を図っています。	はい:83% どちらとも:11% いいえ:0% わからない:6% ・見学時には環境、設備が整っているように見えたが、実際の活動を見た事がないのでなんともいえない。	今後も適切な生活空間の確保に努めながら、活動の様子を保護者に伝える手段を検討していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日のミーティングの中で、職員間での意見交換や情報共有を行っています。		業務について、PDCAを活用し業務改善に努めます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	外部の評価は実施しておりません。		今回の保護者評価を元に、業務の改善を図るとともに、外部による評価の実施を検討します。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	研修会や学会に参加したり、事業所内部での勉強会を適時実施しています。		今後も研修会の情報収集に努め、積極的な参加や事業所内での勉強会を実施します。
適切	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	医療機関及び事業所内で実施した発達検査の結果や子どもの活動の様子を分析し、保護者のニーズをふまえながら、支援内容に反映させています。		今後もそれらを総合的に検討し、子どもの「今の課題」を明らかにして、その対応策を支援計画に反映させます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
必要な支援の提供	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別活動では、子どもの発達に合わせた内容の課題に取り組み、集団活動ではコミュニケーションの練習や集団でのルールを理解して取り組むことを目標に計画しています。	はい:100% どちらとも:0% いいえ:0% わからない:0% ・子どもの様子をよく見て、その都度対応を考えてくれる。	今後も個々のニーズに応じた支援計画を作成します。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	できるだけ具体的に支援内容を記載できるよう、各職員が意識して自己研鑽に取り組んでいます。	・家庭でも取り入れられる関わり方を分かりやすく書かれている。 ・実際の様子が分からないので送迎時の情報のみでは判断できない。	個々のニーズに応じた支援ができるよう自己研鑽するとともに、活動の様子を保護者に伝える手段を検討していきます。
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画を作成し、スタッフで共有できるようファイリングしています。定期的に計画に沿った支援が実施できているかどうかをスタッフ間で検討し、確認・評価しています。	はい:94% どちらとも:0% いいえ:0% わからない:6% ・体を動かしたり、製作をしたり、学習をしたり、様々な活動がある。 ・実際の様子が分からないので送迎時の情報のみでは判断できない。	今後もモニタリング時に、支援計画の実施内容と達成度の評価を行い、保護者への説明を丁寧に行います。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	スタッフミーティングで活動プログラムを立てます。1日の流れを絵カードにして、子どもたちにもわかりやすいように提示します。		今後も活動プログラムの立案を実施し、絵カード等視覚支援を用いて、子どもたちに分かりやすく提示します。また、モニタリング時にその様子を保護者にも伝えていきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	保護者からの相談があった時には、できる範囲で適時対応しています。	はい:83% どちらとも:0% いいえ:0% わからない:17%	長期休暇などのご利用時間に変更がある場合はプリントを作成し、分かりやすく伝えられるようにします。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節や行事に合わせた活動を計画しています。また、天気に合わせて外遊びや室内遊びを実施します。子どもの成長に合わせて、新しい活動を提案しています。		今後も季節や行事等に合わせた活動プログラムを計画、実施していきます。また、その様子を保護者にも伝えていきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	当日利用の児童の申し送りや車両での送迎、当日の活動での職員配置・役割について確認するミーティングを実施しています。		今後も実施します。
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	その日の活動の振り返りや保護者からの要望、連絡帳のコメントをスタッフ間で話し、情報を共有しています。		今後も継続していきます。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	上記の内容を、支援記録として事業終了後にスタッフが記入しています。定期的に記録をまとめて、課題と対応を検討し、個別支援計画に反映させています。		今後も継続していきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年ごとにモニタリングを実施し、個別支援計画の見直しを図っています。モニタリングの際に、子どもや保護者等のニーズを聞き計画に反映させています。		今後も継続していきます。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	依頼があった時には、担当者が参加しています。また、可能な限り個別支援作成会議に参加していただき、連携を取っています。		より良い支援ができるように、関係機関と連携をとっていきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者の希望に応じて、保育所、認定こども園、入学先の小学校など、関係機関との連携を行っています。		今後も実施します。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	保護者の希望に応じて、K式発達検査を元に療育センターや医療機関と連携をとっています。また、発達や子育てに関する研修に積極的に参加しています。		今後も継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	今年度も新型コロナウイルスの影響により、他施設との交流を行っていません。	はい:56% どちらとも:11% いいえ:6% わからない:28%	安心、安全に配慮し、感染防止対策を取りながら交流を再開できるように相談していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	今年度も新型コロナウイルスの影響により、地域との交流を行っていません。		安心、安全に配慮し、感染防止対策を取りながら交流を再開できるように相談していきます。
保護者への説明	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。	はい:94% どちらとも:6% いいえ:0% わからない:0%	今後も継続していきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	日頃の支援の様子などもお話ししながら、できるだけ具体的に説明できるよう心がけています。	はい:100% どちらとも:0% いいえ:0% わからない:0%	今後も継続していきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレント・トレーニングが実施できるよう研修への参加を検討しています。	はい:61% どちらとも:11% いいえ:6% わからない:22% ・支援員さんが変わったのもう少し時が過ぎないとなんともいえない。	支援の質が統一できるよう研修の場を設けていきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時に、一日の様子や頑張ったことを伝えていきます。何か変化があれば、電話等でお伝えし、保護者と相談しています。	はい:89% どちらとも:11% いいえ:0% わからない:0% ・毎回、どのように活動に取り組んだか、丁寧に伝えてくれる。 ・支援員さんが変わったのもう少し時が過ぎないとなんともいえない。	各家庭に合わせた共通理解の方法をとることができるよう工夫していきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や電話などで保護者から相談を受けた時は、内容によっては面接や電話相談の機会を設け、対応しています。	はい:89% どちらとも:11% いいえ:0% わからない:0% ・困っていること悩んでいることを伝えると納得できるアドバイスをしてくれて、とても心強い。 ・支援員さんが変わったのもう少し時が過ぎないとなんともいえない。	今後も保護者からの相談に対しては、その都度対応します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
責任・連携支援	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会、保護者会は実施していません。	はい:28% どちらとも:11% いいえ:17% わからない:44% ・いない。 ・父母の会の活動、保護者会などがあるのかわからない。 ・同じ園の保護者以外とは交流の機会がない。	親子遠足を通してコミュニケーションの場を提供できるよう工夫していきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情受付窓口の設置について重要事項説明書に記載し、説明しています。現在まで苦情受付窓口の利用はありませんが、受け付けた際は、迅速に会議をもち、対応へと繋がります。	はい:67% どちらとも:11% いいえ:0% わからない:22% ・対応体制について説明があったが、実際にはそういう場面がないので対応状況はわかりません。 ・今の所苦情ないです。 ・そういった場面にまだ出くわしていない。	窓口は引き続き設置していくとともに、苦情があった時は、真摯に対応します。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子どもに対しては、絵カードを活用して情報を伝達しています。保護者には、面接時だけでなく、送迎時や電話の際に、保護者の気持ちに寄り添った意志疎通を心がけています。	はい:89% どちらとも:6% いいえ:0% わからない:6% ・いつも丁寧なお話があり、安心できる。	今後も子どもにとって理解しやすいツールの作成や、コミュニケーションのための支援をします。また、子どもや保護者の発信をしっかり汲み取ってまいります。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的な会報等は発行していません。行事予定はその都度紙面でお伝えしています。	はい:44% どちらとも:22% いいえ:11% わからない:22% ・イベントがある時、子どもが分かりやすい案内があった ・いない。 ・会報やホームページがない。	引き続き活動概要、行事予定等を子どもや保護者に発信していきます。ホームページの活用を検討します。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	職員には、秘密保持に関する誓約書を入社時に取り交わしているとともに、子どもの個人情報使用に関する同意書を保護者より頂いています。	はい:89% どちらとも:0% いいえ:0% わからない:11%	今後も継続していきます。
	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを作成し、運用しています。また事業所としての対応についてその都度保護者に書面にてお伝えしています。	はい:89% どちらとも:0% いいえ:0% わからない:11%	必要に応じてマニュアルを改訂し、書面だけでなくホームページなどを活用し周知できるよう検討します。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	活動時に、防災についての絵本などを見て、防災について学んでいます。また避難訓練として、日ごろから、職員と手を繋いで公民館に歩いて行く練習をしています。	はい:78% どちらとも:0% いいえ:0% わからない:22% ・子どもに絵本で分かりやすく伝えてくれている。	今後も、防災について学ぶとともに避難訓練を実施していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機確保等の適切な対応	事業所内で虐待防止や適切なかかわり方に関する勉強会を実施しています。		今後も虐待防止の研修を継続し、適切なかかわりをしていきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	対象者は現在ありません。		今後必要な場合は、関係機関と連携し支援をするとともに、支援計画書に記載をし、保護者にも丁寧に説明していきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アセスメント票にアレルギーの欄を設けており、食物以外のアレルギーも把握し、保護者と相談しながら適切な対応ができるように努めています。		今後も、アレルギー対応が最優先の子どもの利用があった場合は、家庭と連携し、医師からの指示書に基づいて支援します。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットが起きた場合は、記録及びその日の振り返りで共有し、同じことが起きないように改善策を検討しています。		ヒヤリハット事例集の作成を継続します。スタッフで共有する際に、報告書で挙げた対応策が、その後の療育の中で実践できているかも報告するようにし、同じことを繰り返さないよう努めます。